



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月6日

上場会社名 株式会社アーケ 上場取引所 東
 コード番号 7873 URL http://www.arrk.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 康夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 河本 俊之 TEL 06-6260-1040
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	37,945	△4.8	2,114	△15.5	1,883	△42.5	1,510	△73.5
26年3月期第3四半期	39,864	△41.1	2,502	△29.6	3,275	9.6	5,699	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,976百万円 (△74.4%) 26年3月期第3四半期 7,706百万円 (268.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	6.18	2.44
26年3月期第3四半期	51.54	7.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	43,192	28,019	63.8	51.60
26年3月期	45,729	32,107	69.2	33.27

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 27,541百万円 26年3月期 31,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	△5.1	2,700	△13.6	2,100	△49.5	1,450	△83.0	5.32

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日（平成27年2月6日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	338,657,431株	26年3月期	68,101,592株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	4,743,866株	26年3月期	4,743,866株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	209,949,798株	26年3月期3Q	63,357,726株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前記に記載した業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は、業況の変化等により、前記の業績予想とは大きく異なることがありうることをご承知ください。なお、今後の見通しにつきましては、（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国経済においては回復基調が強まっているものの、欧州経済においては緊縮財政や失業率の高止まりが引き続き景気抑制に作用しました。また中国を含む新興国における経済は低成長が続くなど、総じて弱い動きとなりました。国内においては原油安が企業収益にプラスに作用したものの、円安による原材料高や、物価上昇に伴う消費者マインドの低下、海外景気の下振れなどにより先行き不透明な状況で推移しました。その中で主力事業であるオートモーティブ事業においては、新規開発の遅れはあったものの、ユーザーの開発意欲は旺盛であり、今後も需要の増加が見込まれております。

このような状況のもと、当社はグローバルに事業を拡大し、成長することを目指し連結経営管理体制の強化などの諸施策を講じてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高37,945百万円(前年同四半期比4.8%減)、営業利益2,114百万円(前年同四半期比15.5%減)、経常利益1,883百万円(前年同四半期比42.5%減)、四半期純利益1,510百万円(前年同四半期比73.5%減)となりましたが、当第3四半期連結累計期間末までに連結除外した子会社の影響を除くと、下表のとおり売上高は4,804百万円の増加(前年同四半期比14.5%増)、営業利益は463百万円の増加(前年同四半期比28.1%増)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間及び前第3四半期連結累計期間の、連結損益計算書に含まれる連結の範囲から除外された連結子会社の影響は以下のとおりであります。(下記表中の「差引」欄の各金額は、当第3四半期連結累計期間末において連結の範囲に含めております当社グループの売上高及び営業利益の合計額を示しております。)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)			当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)		
	連結損益 計算書	内、当第3四半 期連結累計期間 末までに連結除 外した子会社	差引	連結損益 計算書	内、当第3四半 期連結累計期間 末までに連結除 外した子会社	差引
売上高(百万円)	39,864	6,723	33,141	37,945	—	37,945
営業利益(百万円)	2,502	851	1,651	2,114	—	2,114

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①オートモーティブ事業

オートモーティブ事業におきましては、国内では、引き続き円安効果に支えられた輸出企業の活況を背景に、既存顧客の拡大に取り組んだ結果、増収となりました。一方、海外では、欧州は需要回復を捉え拡販しましたが、中国では景気の減速を受け受注は低調に推移しました。これらの結果、売上高19,663百万円(前年同四半期比14.5%増)、営業利益1,818百万円(前年同四半期比18.6%増)となりました。なお、当第3四半期連結累計期間末までに連結除外した子会社の影響はありません。

②エンジニアリング事業

エンジニアリング事業におきましては、航空機分野における設計派遣業の受注低迷や、顧客都合によるプロジェクトの中止などを受け減収となったものの、自動車分野で既存顧客を拡大しました。これらの結果、売上高11,386百万円(前年同四半期比13.8%増)、営業利益287百万円(前年同四半期比49.1%減)となりました。なお、当第3四半期連結累計期間末までに連結除外した子会社の影響はありません。

③コンシューマー事業

コンシューマー事業におきましては、国内では、アミューズメント業界の受注堅調により拡販すると共に、民生機器業界では需要回復の基調を受け順調に推移しました。一方、海外でも、欧州において試作事業が好調に推移すると共に、アジアにおいても新規顧客の拡大により、好調に推移しました。これらの結果、売上高7,334百万円(前年同四半期比15.8%増)、営業利益717百万円(前年同四半期比26.7%増)となりました。なお、当第3四半期連結累計期間末までに連結除外した子会社の影響はありません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況に関する事項

当第3四半期連結会計期間末における総資産は43,192百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,537百万円減少致しました。

項目別では、流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,440百万円減少し、30,215百万円となりました。これは主に、現金及び預金が3,703百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が1,130百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ96百万円減少し、12,976百万円となりました。これは主に、有形固定資産が224百万円増加したものの、投資その他の資産が296百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,550百万円増加し、15,172百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が646百万円及び前受金が906百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4,087百万円減少し28,019百万円となりました。これは主に、利益剰余金が4,340百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期の業績及び今後の見通し等を踏まえ、平成26年8月5日に公表しました平成27年3月期の業績予想を修正致しました。

詳細につきましては、本日(平成27年2月6日)別途公表致しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,980	12,277
受取手形及び売掛金	12,327	13,457
電子記録債権	353	599
商品及び製品	355	405
仕掛品	828	813
原材料及び貯蔵品	750	767
繰延税金資産	448	426
その他	1,851	1,667
貸倒引当金	△238	△198
流動資産合計	32,656	30,215
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,713	6,176
減価償却累計額	△4,118	△3,596
建物及び構築物(純額)	2,594	2,579
機械装置及び運搬具	8,995	9,627
減価償却累計額	△5,213	△5,692
機械装置及び運搬具(純額)	3,781	3,935
工具、器具及び備品	2,812	3,122
減価償却累計額	△1,805	△2,064
工具、器具及び備品(純額)	1,007	1,058
土地	1,834	1,866
建設仮勘定	268	270
有形固定資産合計	9,486	9,710
無形固定資産		
のれん	1,205	1,127
その他	404	458
無形固定資産合計	1,610	1,585
投資その他の資産		
投資有価証券	1,178	1,077
長期貸付金	31	28
繰延税金資産	42	60
その他	768	540
貸倒引当金	△45	△27
投資その他の資産合計	1,976	1,679
固定資産合計	13,072	12,976
資産合計	45,729	43,192

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,576	4,223
短期借入金	70	1
1年内返済予定の長期借入金	125	106
リース債務	194	174
未払金	675	557
未払法人税等	764	915
未払費用	1,323	1,211
前受金	2,497	3,403
賞与引当金	732	540
その他の引当金	191	175
その他	911	1,578
流動負債合計	11,062	12,888
固定負債		
社債	30	15
長期借入金	127	56
リース債務	450	327
繰延税金負債	1,698	1,631
再評価に係る繰延税金負債	14	14
役員退職慰労引当金	5	—
その他の引当金	103	88
退職給付に係る負債	125	148
その他	3	2
固定負債合計	2,559	2,284
負債合計	13,622	15,172
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	12,080	11,908
利益剰余金	17,242	12,901
自己株式	△9	△9
株主資本合計	31,312	26,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110	84
土地再評価差額金	△162	△162
為替換算調整勘定	388	818
その他の包括利益累計額合計	337	740
少数株主持分	456	478
純資産合計	32,107	28,019
負債純資産合計	45,729	43,192

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	39,864	37,945
売上原価	30,377	30,166
売上総利益	9,487	7,778
販売費及び一般管理費	6,984	5,664
営業利益	2,502	2,114
営業外収益		
受取利息	63	19
為替差益	381	—
持分法による投資利益	82	110
貸倒引当金戻入額	690	2
その他	142	103
営業外収益合計	1,361	236
営業外費用		
支払利息	463	91
為替差損	—	100
その他	124	275
営業外費用合計	588	467
経常利益	3,275	1,883
特別利益		
固定資産売却益	77	30
投資有価証券売却益	778	76
関係会社株式売却益	2,512	—
その他	25	—
特別利益合計	3,393	106
特別損失		
固定資産除売却損	36	23
事業構造改善費用	1,536	—
減損損失	13	—
その他	35	3
特別損失合計	1,622	27
税金等調整前四半期純利益	5,047	1,963
法人税、住民税及び事業税	796	432
法人税等調整額	△1,608	△26
法人税等合計	△811	405
少数株主損益調整前四半期純利益	5,859	1,557
少数株主利益	160	46
四半期純利益	5,699	1,510

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,859	1,557
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	367	△24
為替換算調整勘定	1,468	427
持分法適用会社に対する持分相当額	11	14
その他の包括利益合計	1,847	418
四半期包括利益	7,706	1,976
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,446	1,914
少数株主に係る四半期包括利益	260	61

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年7月29日付で、資本金及び資本準備金を減少し、その他資本剰余金に振替えた後、同日付でその他資本剰余金を減少し、繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が10,171百万円、資本準備金が3,898百万円、その他資本剰余金が2百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,000百万円、資本剰余金が12,080百万円となっております。なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成26年8月26日付で㈱地域経済活性化支援機構による金銭対価取得請求権行使を受け、6,020百万円で自己株式として取得したA種優先株式100,000,000株の全てにつき、平成26年8月27日付の取締役会決議に基づき消却を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金171百万円及び利益剰余金5,848百万円が減少し、当第3四半期連結累計期間末において自己株式が9百万円、資本剰余金が11,908百万円、利益剰余金が12,901百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書計 上額(注) 3
	オートモー ティブ事業	エンジニア リング事業	コンシュー マー事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	17,004	9,992	6,144	33,141	6,723	—	39,864
セグメント間の内部 売上高又は振替高 (注) 4	172	10	191	373	—	△373	—
計	17,177	10,003	6,335	33,515	6,723	△373	39,864
セグメント利益	1,533	564	566	2,664	851	△1,012	2,502

(注) 1. 「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、売却した子会社の情報を表示しております。

2. セグメント利益の調整額△1,012百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,000百万円、セグメント間取引消去による発生額△12百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. セグメント間の内部売上高又は振替高には、比較可能性を確保するため、報告セグメントである「オートモーティブ事業」、「エンジニアリング事業」及び「コンシューマー事業」間の取引から発生した金額を表示しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額(注) 2
	オートモー ティブ事業	エンジニア リング事業	コンシュー マー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,438	11,385	7,121	37,945	—	37,945
セグメント間の内部 売上高又は振替高	224	0	212	438	△438	—
計	19,663	11,386	7,334	38,384	△438	37,945
セグメント利益	1,818	287	717	2,823	△708	2,114

(注) 1. セグメント利益の調整額△708百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△704百万円、セグメント間取引消去による発生額△4百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは従来報告セグメントを「開発支援事業」、「量産事業」及び「金型事業」の3区分としておりましたが、前連結会計年度以前の「量産事業」及び「金型事業」に含まれる連結子会社売却を契機に、第1四半期連結会計期間より事業区分の見直しを行っております。これにより、報告セグメントを「オートモーティブ事業」、「エンジニアリング事業」及び「コンシューマー事業」の3区分に変更しております。なお、一部事業体制の見直しにより、当第3四半期連結会計期間より、従来「オートモーティブ事業」セグメントに含まれていた解析事業等を「エンジニアリング事業」セグメントに含めております。

前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、当該事象による変更を反映したものに組み替えて開示しており、売却した子会社については変更後の報告セグメントに含まれない事業セグメントであるため、「その他」に区分しております。